

第3回行革市民会議での委員の意見等について

意見等	回答	資料No
<p><b>【職員提案制度】</b> 制度に対する提案が多数あったということだが、どのような内容だったのか、内容によっては早急に見直して、制度が機能するようにしなければならない。</p>	<p>職員提案制度に関する職員提案は、通常提案で1件、集中月間で5件である。 これらの提案や制度を運用する中で曖昧であった点などを踏まえ、今年度は3回の見直しを行っている。 詳細は資料1-1のとおり。</p>	<p>資料1-1</p>
<p><b>【滞納督促の記録について】</b> 滞納者に対する交渉の経過がないと、いきあたりばったりの交渉になってしまうので、きちんと記録してほしい。</p>	<p>滞納者と接触した記録は、電話、訪問に限らずすべてシステム管理し、収納課内で情報の共有化を図っている。 現在のシステムはH14年度から稼働しているが、それ以前の昭和の記録についても全てシステムに入力してある。</p>	
<p><b>【補助金について】</b> 平成21年度予算編成では、改めてゼロベースであることを強調してほしい。また、新設しているものを厳しくチェックしてほしい。どのようなスタンスで取り組んでいるのか。</p>	<p>• これまでも終期を設定し、見直しを行ってきたが、今年度は総合計画・財政フレーム検討プロジェクトチームが7月に行った歳入歳出見通しの照会にあわせて、すべての補助金について、ゼロベースという基本的考え方に基づく評価を行い、その点数が一定点数以下の補助金の見直しを求めた。 • そして、10月の予算編成方針で改めて見直しを通知した。 • 11月以降の財政課による予算査定を通じて、一層の削減に取り組む。 • 補助金の新設については、すべて理由を把握した上で、やむを得ないとしたものに限っている。</p>	
<p><b>【中国経済ミッションについて】</b> 議会でどの程度、効果について議論されているか確認してほしい。</p>	<p>H18決算議会及び20年予算議会において、総括・一般質問及び委員会で、指摘や議論はない。</p>	